



発行所 飯田市松尾公民館 編集人 松尾公民館広報委員会 印刷：龍共印刷(株)



踊ってみよう会・特別企画 おわら風の盆 in 松尾 を終えて

哀調を帯びた胡弓の音、三味線太鼓などをバックに唄い手の錆びた声、それにのって体育館の入り口から編傘をかぶった男女の踊り手が入場し舞台上へ上っていく...

公民館では社会教育の中で、人づくりをはじめ、地域活性化の役割を果たす使命をもって活動を続けていく。今回の事業は公民館の多岐にわたる社会教育団体の学習分野の中から、「踊ってみよう会」を連盟組織にして伝統民謡の風の盆を招聘することになった。



おわら風の盆招聘事業 角田禎治実行委員長

地域の文化芸能の発展と地区の発展のために頑張っていく。

一大事業成功裏に終わる

4月26日松尾小学校体育館にて「おわら風の盆 in 松尾」が開催され、900人余りが本場八尾の踊りに魅了された。

「地方」と呼ばれる人たちの三味線と胡弓の音に合わせ唄が始まると体育館入口から踊り手が「流し」と呼ばれる踊りで登場。そのしなやかな指使いや足さばきに来場者は目をくぎ付けにされ、会場は一瞬にして越中八尾「おわら風の盆」の雰囲気包まれた。

来場者が見よう見まねで手先指先を動かしてはみるもの、なかなか同じようにはいかない。無理もないだろう。八尾の人々は生まれたときから「おわら」がそこにあり、学校の授業でも取り入れられ、生活の一部となつていくから。その地域に根付いた踊り、そして都会に出ていった若者が風の盆の時期には故郷に帰ってくる。代田区の佐々木満保さんは「まつお新聞や回覧板で知り、以前八尾近くに住んでいたこともあり懐かしく思い観に来た。また観ることができると感動し

た」と話していたが、今回のおわら風の盆招聘事業は、きつかけがあれば懐かしみ帰ってきてほしいといった地域の想いもあつての実現であった。今後この事業を松尾地区の活性化にいかにつなげていくかが松尾の未来を考えていくうえで重要となっていくだろう。



来場者も踊る「輪踊り」

「輪踊り」では来場者も輪の中に入り、誰もが皆楽しんで踊っていた。おおよそ1時間の演舞を終え、八尾の踊り手が「流し」で会場を後にすると来場者は名残惜しうにその姿を追っていた。おわりに先立ち、松尾地区踊り連盟や松尾小学校6年2組の児童が舞踊「竜峡小唄」天童下



みんなが一つになった輪踊り

自治振興センター職員の変動

今年4月の市役所人事異動により、新しく4人が着任しました。

〈転入〉

○所長 齊藤 浩

○厚生担当 北原 利子

○保健師 熊谷 光恵

〈転出〉

○所長 塚平 賢志

○厚生担当 北澤 五月

○保健師 塩澤みなみ

○公民館主事 横山 淳也



「子供が出演するため、観に来ました。春休み前から練習してこの日に備えていました」と話していた。まさしく地域や学校の協力があつての開催であった。

明区の山田ひろみさんは「子供が出演するため、観に来ました。春休み前から練習してこの日に備えていました」と話していた。まさしく地域や学校の協力があつての開催であった。

誰もが学生時代の同級会を持つていると思う。松尾で生まれ育つた私は松尾の同級生・同窓生と必然的に酒を酌み交わす機会が多い。幼少の頃からの同級が沢山いるこの地に基盤をおいて生活できる喜びを、年を重ねるにつれて感じるようになった▼学生時代は価値観の違いや、帰属グループの違いなどであまり話せなかつた同級生も、今では様々な話をして親交を深めている。子供の成長や家族の話、政治経済の話、松尾の近況やゴシップ、そして最近ブームなのが自分たちの健康問題だ▼ローマの哲学者が「人生から友情を除けば、世界から太陽を除くに等しい」と説いたが、私たちはやはり人間関係に悩み苦しみがらもその中でしか生きていけないということであろう。近年賛否両論様々な見解のある「ツイッター」や「ライン」なども、使い方を誤らなければこんな素敵なアイテムはないと思う。メッセージが届くのが楽しみである▼他界してしまつた同級生もいるが、子供の頃に八幡様や妙見様を駆け回つた仲間、少年野球や柔道で頑張つた仲間、古い緑中学校舎でも学び過ぎた仲間。そんな同級生を自分の人生の財産としてずっと大切にしてい、ともにこの松尾で人間的にも年齢的にもおおくなくなつていきたいと思います▼我々人類と呼ばれた世代が輝き、この地区を輝かせることができたら幸甚である。

Table with population statistics for Matsuo: 男子 6,130人, 女子 6,903人, 計 13,033人, 世帯数 4,872世帯, 5月末現在

平成26年度 松尾地区まちづくり委員会

総会開催される

5月13日松尾地区まちづくり委員会総会が松尾公民館で開催され、新たに就任した小木曾博人まちづくり委員長のあいさつのもと、平成25年度の事業報告と決算報告、26年度の重点目標、事業計画案について審議が行われた。(予算案はおわら風の盆招聘事業のため、3月に承認済み)

議案については、本会及び各部から事業報告、事業計画等の説明があり、全ての議案が承認された。

小木曾博人会長あいさつ



この度、会長を仰せつかりました毛賀の小木曾です。何分にも、地域での活動実績も少なく、経験豊富な宮下吉彰前会長にはとても及びませんが、選任いただいた以上、微力ながら精一杯

平成26年度

重点事項・活動計画

まちづくり委員会(本会)

- 【重点事項】
- ①グリーンベルトの保全
 - ②慈光松尾保育園跡地利用の具体化
 - ③国道151号線の渋滞解消
 - ④内水排除対策
 - ⑤防災対策の確立(地域防災計画の策定)



総会風景

- 【活動計画】
- ⑥おわら風の盆招聘事業
 - ①総会 年2回開催
 - ②企画会議 毎月10日開催
 - ③推進会議 毎月20日開催
 - ④本会事業 学校支援ボランティア事業、やらまいか松尾まちづくり活動助成事業、慈光松尾保育園跡地利用の具体化
 - ⑤その他 研修事業、飯田市まちづくり委員会連絡会への参加、近隣まちづくり委員会代表会議への参加、各種団体事業への参画及び助成ほか

ところから、農業をはじめ様々な産業が集積する地域です。ここで暮らす皆さんが、まちづくり委員会の活動・諸事業に積極的に参加いただけて交流を図り、楽しい地域づくりの主役となつていただくことを願うものです。

今年度も様々な事業を計画しております。すでに、目玉事業の一つの越中八尾「おわら風の盆in松尾」は4月26日に開催し、約900人の方に鑑賞いただけて大盛況でした。市民運動会等例年の行事もこれから続々と予定しております。子供から大人まで「元気で安全な」「健やかに暮らせる」まちづくりを目標に皆さんのご参加をお待ちしています。

総務部

- 【重点事項】
- ①鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ事業
 - ②グリーンベルトの保全



H26 功労者表彰式

- 【活動計画】
- ①鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ事業の実施
 - ②グリーンベルトの保全管理活動
 - ③松尾地区財産区有林の管理(小学生の区有林見学の引率)
 - ④区と連携したあいさつ・みまもり運動の実施
 - ⑤地域行事の企画・立案
 - ⑥その他 情報共有のため定期的に各部会の開催、研修等の実施ほか

地域振興部

- 【重点事項】
- ①道路・水路等の改良補修の促進
 - ②内水排除対策の推進
 - ③土地利用計画の策定
 - ④組合未加入者の加入促進

- 【活動計画】
- ⑤活力ある地域づくり
 - ①道路・水路等の改良補修の促進、市担当部局との懇談会の開催、重点路線市道188号線の建設促進

平成26年度 推進会議 役員



役職名	備考	氏名	地区
会長	毛賀区長	小木曾 博人	毛賀
副会長	代田区長	下 條 啓市	代田
副会長(会計)	水城区長	勝 野 薫	水城
公民館長		角 田 禎治	新井
総務部長		今 村 健輝	代田
総務部副部長		伊 原 長子	代田
総務部副部長		吉 川 静子	清水
生活安全部長		窪 田 利光	常盤
交通安全部長		鈴木 幹夫	上溝
環境衛生部長		小 林 弘明	毛賀
健康福祉部長		相 原 正敏	八幡
公民館育成部長		矢 崎 晴美	毛賀
地域振興部	上溝区長	田 畑 次夫	上溝
地域振興部	久井区長	中 山 明	久井
地域振興部	新井区長	今 村 健	新井
地域振興部副部長	寺所区長	市 瀬 登	寺所
地域振興部副部長	明区長	今 村 洋一	明
地域振興部	清水区長	恩 田 政雄	清水
地域振興部	城区長	下 井 敏	城
地域振興部	八幡町区長	永 田 邦夫	八幡
地域振興部長	常盤台区長	伊 藤 勝二	常盤
財産区管理委員長	総務部	土 屋 孝治	清水
相談役	前会長	宮 下 吉彰	久井
相談役	市議会議員	村 松 まり子	八幡
相談役	市議会議員	森 本 政人	新井
相談役	市議会議員	木 下 徳康	毛賀
特別推進員	消防団第5分団長	仁 木 庄一	代田
特別推進員	日赤奉仕団分団長	近 藤 英子	毛賀
特別推進員	民生児童委員協議会長	清 水 正 則	明

交通安全部

- 【重点事項】
- ①交通安全の推進のための啓発や活動
 - ②交通安全全般
 - ③交通安全の推進のための啓発や活動、交通安全啓発DVD制作事業(松尾地区オリジナル版)
 - ④交通安全全般 交通安全対策事業、交通安全研修事業
 - ⑤その他 啓発活動、学校



H25 住民大会

生活安全部

- 【重点事項】
- ①防火活動
 - ②防犯活動
 - ③子供の安全を守る活動
 - ④防火対策事業 住宅用火



H25 井水現地視察

- 【活動計画】
- ⑤活力ある地域づくり 各区の情報交換、連携した地域づくり、あいさつ・みまもり運動への参加

- 【活動計画】
- ①交通安全の推進のための啓発や活動、交通安全啓発DVD制作事業(松尾地区オリジナル版)
 - ②交通安全全般 交通安全対策事業、交通安全研修事業
 - ③その他 啓発活動、学校



H25 安全啓発「人波作戦」

環境衛生部

【重点事項】

- ①ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクル
- ②環境美化
- ③河川浄化
- ④公害防止

【活動計画】

- ①ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクル、ごみ集積所管理事業の実施、リサイクルステーション管理事業の実施、3R推進事業の実施、指導者研修の実施、啓発活動の実施
- ②環境美化 ごみゼロ運動の日の実施、全市一斉水辺等美化活動の実施



H25 天竜川環境美化活動

- ③河川浄化 天竜川・毛賀沢川堤防美化活動の実施、天竜川環境美化活動の実施
- ④公害防止 井戸水（一般飲料水）水質検査の実施、不法投棄防止対策活動の実施

公民館育成部

【重点事項】

- ◆公民館◆
- ①住民交流の場である分館活動の後押し
- ②松尾の地域課題や生活課題を学ぶ「松尾セミナー」の充実

【活動計画】

- ③松尾地区の文化・体育・広報活動のさらなる振興
- ④まちづくり委員会の中で公民館が果たす役割としての学習と実践
- ⑤各種団体との交流・連携・支援
- ⑥「おわら風の盆」招聘育成会◆
- ◎心身ともにたくましく健

- やかで、人情豊かな青少年の育成
- ①子どもたちを健全に育てるための活動の場の提供
- ②あいさつ運動の推進（小学生を中心に）
- ③関係機関団体との連携・協力

【活動計画】

- ◆育成会◆
- ①松尾少年スポーツクラブ等の育成及び活動支援、PTA活動・地区活動への協力
- ②松尾の川の水中生物をつかまえて、ニユースポーツ交流、モデルロケット



H25 おもしろ科学教室

を飛ばそう（5年生対象）、出張科学実験（6年生対象）、おもしろ科学教室

※公民館の活動計画は本紙4・5面に

健康福祉部



H25 健康講座

【重点事項】

- ①松尾地区のまちづくり重点目標と福祉健康の基本理念にある、地域に住まう全ての住民が、安心して健やかな生活が出来る環境と優しさのある地域社会づくりを目指して、地域福祉及び地域住民の健康の増進を図る
- ②地域における福祉健康活動を積極的に展開するた

【活動計画】

- ①社会福祉委員会 ふれあいサロンや敬老福祉事業、みまもり活動、一人暮らし高齢者のふれあい昼食会や高齢者のための料理教室、在宅介護者元氣回復事業、介護予防教室卒業者を対象としたフォローアップ事業、移送サービス事業、松尾地区の社会福祉に寄与するため、社会福祉団体等への協力支援、赤い羽根共同募金事業への協力、委員の研修会実施ほか
- ②保健推進員会 健康講演会実施、各地区健康講座実施、推進員の研修会実施ほか

平成25年度 まちづくり委員会会計決算（概要）

収入の部			単位：万円
項目	金額	説明	
会費	2,044	1戸年間6,000円	
パワーアップ地域交付金	993	飯田市交付金	
その他補助金等	1,144	ほっ湯アップル配分金、財産区交付金ほか	
前年度繰越金	416		
基本繰入金	235	まちづくり委員会基金ほか	
雑収入	84	各種交通警備謝礼、自治会保険各区負担金ほか	
収入合計	4,915		

支出の部			単位：万円
項目	金額	説明	
本会費	2,035	役員報酬、駐車場借地料、元気の出る活動費ほか	
総務部	198	小学校区有林見学、各種地域行事費ほか	
地域振興部	512	文書配布業務交付金、産業振興ほか	
生活安全部	208	松尾地区安全大会経費、防犯灯新設工事費ほか	
交通安全部	140	交通安全教室、道路反射鏡清掃作業費ほか	
環境衛生部	302	ごみ集積所管理費、天竜川環境美化活動費ほか	
健康福祉部	312	敬老福祉事業補助金、ふれあいサロン補助金ほか	
公民館育成部	797	各種公民館事業費、育成会事業費ほか	
支出合計	4,505		

項目ごとに1万円単位に四捨五入しているため、各項目の計と合計とは一致しない場合があります。
歳入総額4,915万円－歳出総額4,505万円＝410万円（次年度繰越金）

犬のフンでどうしています？

5月25日、全市一斉ごみゼロ運動が行われた。

ごみゼロ運動ではゴミは拾われても、犬のふんについては敬遠されてしまい、そのまま放置されるケースが多い。

松尾に住んでいる人の中に、犬のふんを放置していく人がいることは、非常に残念でならない。衛生面でよくないことは言うまでもない。また、暑さを避けて夜中に犬の散歩をする人も見かける。暗闇にまぎれてふんを放置していく。ペットを飼うならマナーを守ることは最低限の常識。

飯田市ではゴミのポイ捨て等以下のように定めている。

ひとりひとりの心がけて、松尾を住みよい町にするため、環境美化を推進しよう。

「飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」

空き缶等を回収容器、ごみ箱、吸殻入れその他の定められた場所以外にみだりに捨てるポイ捨てをしてはいけません。

※空き缶等：缶、瓶、ペットボトル、弁当容器その他の容器または、タバコの吸殻

飼い主は、みだりに飼い犬、飼い猫その他の飼育動物のふんを放置してはいけません。

これらに違反した場合は、条例に基づき勧告を行い、従わない場合は命令を行います。それでも従わない場合は、その事実（氏名等）を公表することがあります。（飯田市ホームページより）



火災に備えて



火元を目がけて一斉放水

5月18日、毛賀区において飯田市消防団第5分団（松尾）による春季非常招集訓練が実施された。この訓練は、火災現場における一連の流れを確認し、迅速な消火活動と団員の意識・安全・技術の向上を図る目的で、年2回行われている。

今回の訓練では、毛賀コミュニティ消防センター前の竹やぶ火災を想定して、団員約60人、ポンプ車1台、積載車3台が出動した。各班は到着順に防火水槽や水路を水利として使い、火元までのホースの連結とポンプ操作を行い一斉に放水した。水利からの火元までの距離があったが、訓練と、炊き出し訓練を行った。

昨年、松尾地区では建物火災は0件だったが、地区内の火災発生ゼロを目指して、防火意識を高める取り組みに期待する。

また、訓練には日赤奉仕団松尾分団も参加し、予防救護班と協力しての救護訓練と、炊き出し訓練を行った。

訓練終了後、仁木庄一分団長から、「この訓練は、迅速な消火活動により住民の生命と財産を守る訓練であるが、安全な操作で自分と仲間を守る訓練でもある」との訓示があり、団員は引き締めていた。

平成26年度 まちづくり委員会 公民館育成部 松尾公民館 各委員会の活動スタート!

松尾公民館活動の目標

「地域に開かれ学びあう公民館」

- ・地域課題をともに学びあう
- ・地域の文化・体育振興、広報に努める
- ・地域に根ざした活動をめざす
- ・各事業を通じて地域の盛り上げを図りひいては地域の人材を育成する



H25 文化祭開会式「文化祭が始まります」

角田禎治
公民館長あいさつ

館長として3期6年目を迎えました。

『行政は村を守る厳父であり、公民館は村を育てる慈母である』(竜丘公民館報より)

公民館は、社会教育法に基づき教育と、まちづくり委員会の一部会という二面性を持っており、公民館活動における「教育」と「地域自治」の立場をよく理解しながら地域課題に向かつて活動していきたいと思えます。まちづくり委員会が充足

して3年経った現在でも、公民館としての役割である「人づくり」という部分においては今も昔も変わりません。今年役員を受けられた方々は、活動を通じて自分自身が楽しみながら公民館活動を行ってほしいと思えます。

井上ひさしの言葉を借りて「むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことをゆかみに、ゆかいなことをまじめに」。「明るく」「楽しく」「元気よく」の精神で事業を実行していきます。一年間よろしくお願いたします。



分館役員の意見交流の場を設け、松尾地区が一体感を持つて活性化できるような支援し、取り組めます。

区民の皆さんからもご意見をいただき、活動の参考にしたいと思えます。よろしくお願いたします。

総務企画委員長 平澤勇治

松尾公民館総務企画委員長の平澤です。

平素より、区民の皆様には公民館活動に対しましてご理解、ご協力をいただき感謝しております。

総務企画委員会は公民館活動方針に基づき、社会教育の一端を担う立場から事業を企画し実行することにより、家族、住民同士のつながり、地区の盛り上げをバックアップします。

今年度は、家族が楽しみながら絆を深められるような企画を検討中です。



H25 公民館研修会

総務企画委員会

— 活動計画 —

- ・農業体験・食育講座「まけるな農園」
- ・公民館研修会
- ・親子ふれあい教室

体育委員会

— 活動計画 —

- ・公民館役員対象 ニュースポーツ講習会
- ・分館対抗 ニュースポーツ大会
- ・分館対抗ふらばーるバレー大会
- ・松尾地区市民運動会
- ・他



また運動会では例年同様の内容を予定しています。でも、何が起るかわからないのが運動会です。選手・観客・役員全員が楽しくできたらいいなあと思えます。そしてワンバウンドふらばーるバレーボール大会は松尾区民の皆様には、広く認知されてきたと思えます。そこで、今年度は、単独事業として企画しました。大会が盛り上がることを期待しています。

体育委員長 平栗理

私が、体育委員になって良かったと思うときは、参加している皆さんの楽しい顔、失敗して悔しい顔、勝って喜んでる顔、負けて残念な顔、そんな色々な表情を見させていた、「会場の空気が一つになっている」と感じる時です。

今年度の体育事業も二ニュースポーツ大会(キンボール・ペタンク・囲碁ボール)を行います。キンボールは、今年度から新しく取り入れました。(大きなボールを3チームで競い合うゲームです)松尾区民の皆様、広く知ってもらえるように、長く続けられるように努力していきたいと思えます。



H25 市民運動会



区民の皆さんのご意見・ご要望をいただきながら、幅広い年代層の方々が参加したくなるような企画運営に知恵をしぼり、「楽しかった」「参加してよかった」と言ってもらえるように努めていきたいと思えます。

「継続は力」・「継続は文化」のもと、一年間の活動で少しでも松尾の文化度が向上できるよう努めてまいります。区民の皆さんの更なるご理解とご協力をお願いいたします。

文化委員長 丸山基治

今年も親子映画鑑賞会、人形劇フェスタのシーズンがやってきました。本館行事ばかりでなく各分館でも様々な企画が予定されています。今年度の公民館事業計画でも住民交流の場である分館活動の後押しが重点事項として掲げられています。本館行事ばかりでなく各分館で行われているキラッとひかる活動にも目を向け、各分館の相互交流・情報共有にも努めその結果として本館行事が大きく成功できるようにしていきたいと考えています。



H25 文化祭 おぐねトークライブ

文化委員会

— 活動計画 —

- ・親子映画鑑賞会
- ・いいだ 人形劇フェスタ2014
- ・松尾地区成人式
- ・年賀状展
- ・文化祭
- ・松尾踊ってみよう会

館長コラム

皆さん、こんにちは。館長コラムが様変わりして驚きましたか？実は先日、広報委員長から「館長、まつお新聞のコラムを模様替えしましょう」と提案がありました。目を白黒させる私に委員長は、「館長は俳句や俳画がお好きでしたよね」とニヤリ。委員長の思惑に「ハッ！」と気づき、「俳句も俳画も素人だから、ムリムリ」と焦る私を尻目に、企画はどんどん進んでしまい……。気がついたら、このような新しい館長コラムができあがっていました。

そんなわけで、覚悟を決めました。素人の私の俳句や絵など目の肥えた皆さんには笑われてしまいますが、このコーナーを通して四季の移り変わりを皆さんと一緒に楽しんでいけたらと思います。どうぞ今年1年、ゆっくりお付き合いください。

日ごほり歳時記

季語【夏】

短夜・雲の峰・虹・青田・浴衣・風鈴
 田草取り・母の日・蟹・蝉・百日紅
 向日葵・月見草 など



「風の盆」は秋の季語ですが、おわら招聘事業に合わせて今回掲載しました。

農業体験・食育講座 「まけるな農園」

5月24日「まけるな農園」が明区遊休農地で行われ、親子20人が参加した。今回の作業内容はサツマイモ（紅あづま、安納芋）、スイカ、カボチャの植え付けとトウモロコシの種蒔き。ニンジン畑周りの草取り。ジャガ芋の土寄せ。



うわー草がいっぱい

草を抜く作業をした。猛暑の中での作業であったが、親子語らいながら野菜の大きくなるのを楽しみにしている様子だった。

今年度も「松尾サイエンス」活動始まる！

「科学で育む地育力」と書かれたTシャツを着て活動するのは、理科の楽しさを子供たちに伝えようと、公民館社会教育の一環として立ち上げた「松尾サイエンス」スタッフ。子供たちが安全に楽しめるようにと、定期的に行われるサイエンススクールの前には、事前予行演習もしている。立ち上げに携わった角田公民館長は「科学を通して地域で子供たちを育てていきたい」という区民の熱い思いを受けて発足して今年で6年目となります。こ



H26「大気圧の不思議」より

ように地域に定着しているのはボランティアスタッフのおかげです。「松尾のこどもは松尾で育てる」とよく言われますが、公民館で後押しできるところは、今後も続けていきたいと思っています」と語っている。

公民館の主な行事予定 (7月～9月)

- 【7月】5日(土) 親子映画鑑賞会 19日(土) ラフティング 体験教室
- 【8月】5日(火)～10日(日) いいだ人形劇 フェスタ
- 【9月】下旬 まけるな農園

◎ご意見募集
 まつお新聞に関してご意見をお寄せください。
 松尾公民館
 TEL 2210091

松尾図書館
 (公民館2階)
 開館日 水曜 午後1～5時
 土曜 午前10～午後5時
 日曜 午後1～5時
 本のリクエストも受けつけています。

平成26年度 公民館役員名簿

	分館長	副分館長	副分館長	分館主事	文化委員	体育委員	広報委員
上 溝	福島 紀雄	岡田 一彦	壬生 博子	久保田光明	別所 映子	小池 和浩	福島 千代
久 井	関島 孝幸	丸山 正敏		丸山真由美	平栗 信吾	片桐 慶蔵	塩澤 秀明
水 城	桐生 辰男			久保田 晃	牧野内 功	長谷部昭人	木下 正之
新 井	伊野 勇			常盤 三男	大野 俊彦	山崎 勉	森本 政人
寺 所	中島 義夫	木下 明夫		三石 陽次	井上 亮	酒井 祐幸	臼井 秀明
明	土屋 秀文	三浦 可収		松村 広善	田中 潔	西澤 光郎	木下 知代
清 水	代田 稔			折金 良一	竹村 清海	小林 武	代田 和信
城	奥田 泰典	多澤 正弘	小椋 寛	平沢 正勝	松山 英二	松倉 進一	松倉 俊彦
八幡町	黒田 誠	川尻 俊史	田平 四郎	三浦 勝	太田 淳	井川 晃	青島すみ子
代 田	遠山 昭仁			小木曾玲子	加藤 潔	浅井 晃	松下古津絵
毛 賀	伊原 公彦			三ツ石謙造	吉澤 進	前澤 洋之	牧内 秀男
常盤台	吉井 準二			丸山 高光	代田 昭一	林 多加夫	渡部みほ子

館長委嘱

	◎丸山 基治	○明石 茂樹	○酒井 和久	高橋 宣明		
文 化	塩澤りえ子	熊谷 吏花	北原季意子			
体 育	◎平栗 理	○竹折 睦夫	○森下 廣一	齊藤 好雄	小西 淳子	小澤由美子
広 報	◎松原 倫子	○金澤 志保	○平栗 猛	平澤 淑子	伊藤 秀夫	
総務企画	◎平澤 勇治	○奥村 和徳	○池田 稔梨	伊藤 俊光		
	塩澤 一友	早川 雅司	福島由美子	丸山 香織		

スポーツ推進委員 田中 利治 山中 由美 竹下 広志 三石 陽次 ◎委員長 ○副委員長



読みやすく親しみやすい新聞づくりに、広報委員が一丸となって尽力してまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。

また、取材の際には首から委員証を下げた広報委員が参ります。気軽に声をおかけください。そして、まつお新聞に載せたい情報などがあれば公民館もしくは分館選出の広報委員に一報をお願いいたします。

広報委員会

活動計画

- ・まつお新聞227号発行
- ・まつお新聞228号発行
- ・まつお新聞229号発行
- ・まつお新聞230号発行

広報委員長 松原 倫子

広報委員会では、まつお新聞を年4回発行しています。地域の話題から問題提起など松尾地区の様々な事柄を記事にしています。

松尾公民館は公民館の活動方針にもあるとおり長野県でも最初に設立された公民館の一つであり進取の精神を養い、住みよい松尾、



H26「おわら風の盆」取材



2時間黙々と...

5月11日、毛賀沢・北ノ沢の清掃活動が行われた。参加者は中年会・区執行部・環境衛生毛賀支部を含め約30人。毛賀区民会館に集合

毛賀区

毛賀沢をきれいに

し、作業内容と担当場所の説明を聞いた後、徒歩で毛賀沢まで移動した。各自ゴミ袋を手に川に入り、草むらや土に埋まったゴミを拾い集めた。ゴミは食品品のパッケージ・ペットボトル・空き缶がほとんどであった。水量が少なく作業は順調に進んだ。作業を続けていると年配者が、昔に比べればゴミが少なくなったと話し始めた。最初の清掃活動の時は、参加者も少ないうえ自転車・タイヤ・家電等の大型不法投棄物が多く大変苦労した

という。事の始まりは10年前の「酔うなび会(毛賀のボランティアクラブ)親睦会での「毛賀沢が汚いで、何とかしまいか」の一言であった。下見をしたところゴミ・倒木が想像以上にひどく困難ではないかと思われた。色々意見が出されたが、とにかく無理のない範囲でやってみようということになり、清掃活動の3年目より毛賀区・環境部が協力を始めた。その後、中年会・壮年会も参加するようになった。2時間の清掃作業で、軽トラック2台分のゴミが集まった。区民会館に戻りゴミを分別し、清掃活動は完了した。

ニュースポーツ講習会

新種目・キンボールも

5月11日松尾小学校で松尾公民館体育委員会主催のニュースポーツ講習会が行われた。これは6月22日の分館対抗ニュースポーツ大会のために開かれたもので、松尾地区の各分館から代表者が参加し、ペタンク・囲碁ボール・キンボールの3種目を受講した。各競技に分かれゲームの流れやルールの説明を受け、続いて実際に競技体験した参加者は、質

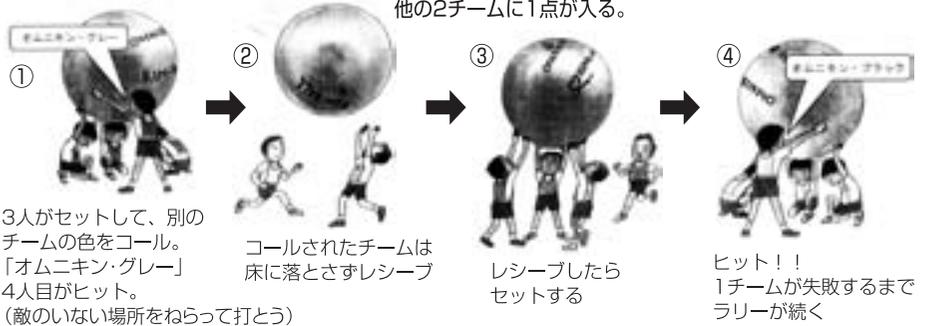


問をしたり作戦を練ったり、真剣な表情で講習を受けていた。「ニュースポーツの良いところは、ルールが簡単で年齢や性別にかかわらず誰でも気軽に楽しめること。真剣にゲームに取り組みながらも、好プレー珍プレーに沸く場面も随所に見られ、選手も応援団も一緒に笑いがあふれる。勝ち負けだけにこだわらず、分館の親睦を深めるために役立ててもらえたら嬉しい」と平栗理体育委員長は語った。

また今年から新しく大会競技に取り入れたキンボールについても、「馴染みがないため難しそうに見えるが、やってみると意外と簡単。作戦次第では初心者強いチームを破ることもできる。今年キンボールを知ってもらい、来年以降はレベルアップを図りながら楽しんでほしい」と、分館での今後の盛り上がり

キンボール・ゲームの流れ

・4人1組×3チーム(ピンク・ブラック・グレー)で競い合う。
・1つのチームがボールを床に落としたり、ファールをすると、他の2チームに1点が入る。



6月1日、上溝区ニュースポーツ大会が松尾小学校体育館と校庭で開催された。女性11人、男性36人が参加し、囲碁ボール、ペタンク、キンボールを体験した。ペタンクはフランス発祥のスポーツで、ビュットという目標球をめぐって直径約8センチ、重さ800gの金属製の球を投げ、目標球より近づけることで相手チームと競う。初夏の炎天下、相手方の球を弾く音に歓声を上げて盛り上がった。囲碁ボールは囲碁とゲートボールを融合させた競技で、10個の球を交互に打ち合い、縦横斜めに3×5個の球を並べると得点になる。屋内で誰でも簡単に楽しめる

この他にも直径約1.2メートル、重さ約1キのボールを用いてチームプレイを楽しむキンボールが行われ、参加者は思っ存分新しいスポーツを楽しんだ。後用意された7種類のワインを原産国・色・味わいの説明を受けながら、各人思い思いに試飲した。各テーブルにはワインに合う軽食つまみが用意され、セミナー修了時には全員がほろ酔い気分となった。講師の麦島さんは「地元以外でセミナーを行うのは今回が初めてで、多少心配もあったが、真摯な態度で話を聞いていただき、ありがたかった。これを機に参加された皆さんが自分に合ったワインを見つけられてほしい」と話していた。主催した平栗信吾文化部長は「今年趣向を変えて集会所でも行える身近なテーマを考えてみた。知っているように知らないワインの

久井区 地域いきいきセミナー ~ワインを知識と舌で楽しむ~

久井区恒例の「地域いきいきセミナー」が5月26日に催された。今年度はワインを楽しむをテーマに、参加者30人を得て久井集会所で行われた。講師には、寺所区でワインショップを営営する傍ら、自らもシニアソムリエとして活躍している麦島泰彦さんを迎えた。演題は「ワインって何?」。参加者との対話を挟みながら、基礎知識から上手な



区長のご発声で乾杯!

楽しみ方に至るまで、最終和やかな雰囲気の中で進んだ。世界のワインの生産国・消費国ベスト10に中国が入っていることを聞いて驚きの声もあがった。その

上溝区

いにしえがいた!



新しく購入された囲碁ボールセット

鳩ヶ嶺八幡宮の来年度年番区となる城區では、今年暮れに本殿に奉納するしめ縄用のワラ作りのための田植えを行った。5月18日、日曜日の朝、緑ヶ丘中学校に向う道路沿いのオートヒラサワ北側に用意された8坪のご神田に城區民約70人が集まり、田

城區

ご神田お田植え

植えの神事を行った。絶好の田植え日和の中、青の法被に赤いタスキ姿の早乙女役の小学5、6年生の女子児童7人がご神田に横一列に並んだ。太鼓の合図で一斉に一番苗を植え付けた。今回田植えに使用した苗は、しめ縄用の丈の長い、農林22号うるち米で、11年前の年番の時と同じご神田に無事田植えをすることができた。今後の予定では、9月に稲刈りとはざ掛け、10月に脱穀作業、11月にわらすぐり、12月上旬に城區民総出でしめ縄作りを行い、12月吉日、鳩ヶ嶺八幡宮本殿奉納となる。



早乙女のお田植え

ふれあいひろば

世界を楽しめたことは今セミナー開催の大きな意義である」と結んだ。*ツアーオプ・ジャパン 5月21日国内最大級の自転車ロードレース「ツアーオプ・ジャパン」南信州ステージが小雨の降る中開催された。しぶきを受けて走る選手に緑ヶ丘中学校の生徒らが声援を送った。



ガンバレ



弓道祝射礼を見守る

*還暦の会 5月24日松尾地区還暦の会が開催され64人が参加し行われた。今年度は還暦を迎えた全日本弓道連盟会員の常盤三男さんの提案で弓道祝射礼が行われた。厳肅な雰囲気の中、各々還暦という人生の節目を迎えるの想いを巡らしているような面持ちだった。